

紀の体

 和歌山市管工事業協同組合



紅葉の根来寺 大門(和歌山県岩出市)

URL <http://www.w-kankoji.com>

E-mail: wakayama@w-kankoji.com

紅葉の根来寺 大門

根来寺は岩出市を代表する文化財の宝庫である。大治5年(1130)新義真言宗の宗祖覚鑿(かくばん)が高野山に大傳法院密厳院を創建したのが始まりといわれる。

根来寺境内には建造物以外にも、名勝指定の庭園、春の桜、秋のもみじなど広い敷地内には見どころが多く、訪れる人々を楽しませてくれます。

根来一山の総門で嘉永3年(1850)に再建されたものです。左右に仁王像を配し、この寺にふさわしい大門です。門内には他にも釈迦如来・善財童子・月蓋長者・十六羅漢が安置されている。平成5年、県の文化財に指定されている。(根来寺境内)

目次

特集 品確法・総合評価方式	1
役員会報告	3
組合の動き	5
青年部の動き	7
会社訪問	8
趣味のコーナー	9
時事解説	10
編集後記	11

特集

品確法・総合評価方式

和歌山県では平成19年6月15日発表された「公共調達制度改革」により平成20年度から、入札制度が従来の指名競争入札から条件付き一般競争入札へとなり、落札者の決定には、従来の標準的な技術・工法を前提とした価格のみによる決定から、工事内容や周辺環境に応じた技術評価等による総合評価落札方式へと変更されています。この総合評価落札方式は、すでに国土交通省発注の工事にも適用されており、今後市町村レベルにまで拡大されていくものと思われます。そこで「品確法・総合評価方式」についてとり上げてみました。

総合評価方式への変更の背景

一言でいえば、建設業界をとりまく環境の変化が要因ですが、主な要因としては、①バブル崩壊により建設投資は平成4年のピーク時と比較して約6割の水準まで減少し、公共投資に限ってみれば、半減という状況にある ②ピーク時に全国で60万業者を数えた建設業の登録許可業者数は約8万業者が減少したが、それを上回る建設投資が、急減する状況にあり、「更なる再編・淘汰は不可避」という厳しい現実に向き合っています。

一方、①建設産業は「脱談合」のうねりの中で、法令遵守（コンプライアンス）の徹底の動きが建設産業全体に広がってきている ②平成9年4月「公共工事コ



スト縮減対策に関する行動指針」が発表され、その後、数度に及ぶコスト縮減目標が設定される等、コスト縮減への取り組みがなされてきました。

このように、建設投資の減少による競争の激化、コスト縮減政策等により①不良不適格業者の排除 ②ダンピング受注の排除 ③公共工事の品質確保等の観点から、平成17年4月「公共工事の品質確保等に関する法律」が施行され、最低価格落札方式「価格偏重の競争」から「価格と品質で総合的に優れた調達」へと転換されました。以上を背景として、公共工事の発注者において、一般競争入札方式ならびに総合評価方式の拡大がより進展するものと思われます。本号ではより関係の深い和歌山県における「建設工事総合評価落札方式」の主要点について、掲載しました。

和歌山県管工事業協同組合連合会では、平成21年1月中旬に「品確法・総合評価方式のポイント」講習会を予定しています。

和歌山県における総合評価方式

公共投資が減少している中、価格競争が激化し、著しい低価格による入札やくじ引きによる落札者が多くなることにより、工事の品質の低下が懸念されています。そのため、価格と品質で総合的に優れた調達を実施することが必要と考えられ、具体化されたのが「公共工事の品質確保の促進に関する法律」（品確法）に位置づけられた総合評価方式です。和歌山県では、一層の品質確保を図るため、原則として予定価格3千万円以上の全ての工事で、総合評価方式を導入しています。なお、和歌山県では新「業者評価制度」の導入に伴い、品質の向上に関する情報をデータベース化しているため、総合評価方式の手続きが効率的に実施できます。

評価値の算出方法

総合評価方式では、評価値の高い応札者が落札者となります。

$$*評価値 = \frac{\text{技術評価点}}{\text{入札価格(千円)}} = \frac{\text{標準点}(*基礎点:100点) + \text{加算点}}{\text{入札価格(千円)}}$$

* 評価値は小数点第2位止めとし、小数点第3位を四捨五入します。 * 基礎点は、応札した全ての業者に与えられます。

総合評価方式の型式

特別簡易型 予定価格3千万円以上5千万円未満の工事に適用

施工計画の評価を要件とせず、「企業の施工能力」「配置予定技術者の能力」「地域貢献」の定量化された項目により評価します。

$$\text{加算点 (15点)} = \text{企業の施工能力 (5点)} + \text{配置予定技術者の能力 (4点)} + \text{地域貢献 (6点)}$$

簡易型 予定価格5千万円以上1億円未満の工事に適用

特定のテーマに沿って作成された「簡易な施工計画」のほか、「企業の施工能力」等定量化された項目により評価します。

$$\text{加算点 (20点)} = \text{簡易な施工計画 (5点)} + \text{企業の施工能力 (4点)} + \text{配置予定技術者の能力 (5点)} + \text{地域貢献 (6点)}$$

標準型 予定価格1億円以上の工事に適用

技術上の工夫等一般的な技術提案を求める「具体的な技術提案」のほか、「企業の施工能力」等定量化された項目により評価します。

$$\text{加算点 (25点)} = \text{具体的な技術提案 (10点)} + \text{企業の施工能力 (4点)} + \text{配置予定技術者の能力 (5点)} + \text{地域貢献 (6点)}$$

$$\text{※ 県外業者との混合入札の場合} \quad \text{〈15点〉} * \quad \text{〈2点〉} * \quad \text{〈4点〉} *$$

高度技術提案型 必要に応じて工事に適用(ダム本体・特殊な橋梁等)

技術的な工夫の余地が大きい、高度な技術提案を要する工事に適用し、工事内容により評価項目を設定し評価します。

学識経験者の意見聴取

総合評価方式の実施にあたっては、地方自治法及び同法施行令に基き、県では総合評価審査委員会を設置し学識経験者の意見を聞くこととしています。

定量的な評価が困難な具体的な技術提案等については、審査の透明性を確保するため、委員により評価を行っています。

■ 総合評価方式 ⇒ <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/081100/hinkaku/index.html>

役員会報告

6月度 定例役員会

- 1. 開催日時 平成20年6月11日(水) 午後5時30分より
- 1. 開催場所 役員会議室
- 1. 役員定数 理事10名、監事2名
- 1. 出席役員 理事7名、監事2名

議事の概要は次のとおり

第1号議案 役員を担当職務等について

事務局長より、欠員になっていた理事2名が第62回通常総会で補充選出されたので、副理事長1名の選任と、改めて全役員を担当職務について、別紙により提案。副理事長には中谷晃也理事が選任され、役員を担当職務については、提案どおりとすることで、全員賛成にて可決。(詳細は前夏季号に掲載)

第2号議案 第62回通常総会の費用精算について

事務局長より、第62回通常総会の費用精算について別紙明細書により報告、全員異議なく了承した。

報告議題

事務局長より、下記の事項について報告があり、全員異議なく了承した。

- 1. 平成20年度 下水道排水設備工事責任技術者資格認定試験について
- 2. 給水装置工事主任技術者試験について
- 3. 消防設備士試験について

7月度 定例役員会

- 1. 開催日時 平成20年7月8日(火) 午後5時30分より
- 1. 開催場所 役員会議室
- 1. 役員定数 理事10名、監事2名
- 1. 出席役員 理事9名、監事2名

議事の概要は次のとおり

第1号議案 お盆における組合事務局の業務体制について

事務局長より、お盆における組合事務局の業務体制について、本部事務局については8月13日(水)から、8月15日(金)まで休日とし、事業部については、8月13日(水)から、8月16日(土)まで営業する旨提案、全員賛成にて、提案どおり可決。

第2号議案 運転資金の借入れについて

事務局長より、4月～7月の資金繰りについて、通常総会費用、上部団体等加盟諸団体への会費の支払いがかさむため、当期末を返済期限として1,000万円の短期の借入れをしたい旨提案、全員異議なく賛成にて可決。尚、借入れレート等、諸条件については、事務局に一任することを合せて可決。

第3号議案 入札情報の提供について

事務局長より、和歌山県・和歌山市において、公共調達制度改革の一環として、指名競争入札から、条件付き一般競争入札へと変更され、入札情報が、発注者のホームページに掲載されるため、入札参加希望者は、常に発注者のホームページを検索する等、相当な労力が要求されます。入札参加組合員の要望もあり、希望者に入札情報を提供したく別紙条件にて希望者を募集したい旨提案、全員賛成にて可決。

第4号議案 水道検針票広告掲載について

事務局長より、和歌山市水道局より水道検針票広告掲載について、依頼があったので別紙により提案、全員賛成にて可決。

第5号議案 平成20年度 組合親睦旅行について

事務局長より、企画担当役員において検討された3件の案について別紙により提案。審議の結果、沖縄本島（1泊2日）にすることで、全員賛成にて可決。開催日時等、詳細については、担当役員に一任することも合せて了承。

報告議題

事務局長より、以下の項目について報告があり、全員異議なく了承した。

1. 産業廃棄物、マニフェストの交付状況報告書の提出について
2. クレーン（5t未満）運転業務特別教育のご案内について
3. 玉掛け技能講習のご案内について
4. 職長・安全衛生責任者教育のご案内について

組合の動き

和歌山市総合防災訓練に参加



日頃の配管技術を発揮して防災訓練演習に参加

和歌山市主催による第44回和歌山市総合防災訓練が、去る8月24日(日)にせせらぎ運動公園で実施されました。組合は、ライフラインの応急復旧の部門に、和歌山市水道局と合同で参加しました。

私たちの住む和歌山は、近年に起こる確率の高い南海・東南海地震が心配され、和歌山県や和歌山市で防災体制の確立に力を注いでいます。この度の防災訓練は、大規模な地震災害に備えるため「災害対策基本法」及び「和歌山市地域防災計画」に基づき実施され、防災体制の充実と関係機関との連携強化、市民の防災意識の高揚を図るものです。当日は、国の出先機関や陸上自衛隊、和歌山県、警察、消防等防災関係者をはじめ40の機関が参加した防災訓練になりました。

紀伊半島沖を震源とする和歌山市震度6弱の地震の発生を想定して、和歌山地方気象台の「緊急地震速報」をかわきりに防災訓練が開始され、プログラムにのっとり本番さながらに、参加団体が順次訓練演習を行いました。

和歌山市水道局と組合は、水道管復旧

訓練にあたり、道路に埋設されている水道管が破損し、道路から水が噴出しているとの想定のもと、漏水箇所の掘削、補修金具での復旧工事と、仮設給水栓の設置工事のため、サドル分水栓から給水栓の取付け工事をしました。訓練には毎年、組合事業の漏水修理参加業者が交替で訓練に参加しています。今年も、日頃の配管技術を発揮して、整然と訓練演習を遂行することが出来ました。

和歌山市水道局と組合の間で、「災害発生時における水道施設の応急復旧の応援に関する協定書」を締結しています。そして、阪神・淡路大震災の水道復旧の支援に、組合から多くの組合員が出動しました。実際の体験や災害復興の報道により、水は生活に欠かせない大切なものである事と災害復興には水道配管の技術が必要不可欠であることを、深く実感しました。

訓練は、有事に安全・迅速そして整然と作業をチームで行なうよい機会になります。これからも、防災訓練へ参加の要請がありましたら、是非皆様方のご協力をお願いします。

ぶんだら踊り出場!! 組合連



組合連をPRしたぶんだら踊り



光るバルーン山車を引くちびっこ

今年も私たち組合は、8月2日、和歌山市の祭り紀州おどり“ぶんだら節”に、組合連を作って出場しました。

今回は、和歌山城天守閣再興50周年記念で「城フェスタ」の行事の一環として、第40回紀州おどり「ぶんだら節」が開催されました。

うれしいことに、組合の踊り参加者は70名を超えました。組合員さんを熱心に(強引に)誘い、組合員さんやご家族、友達と様々な方々がたくさん出場していただきました。(その節は、本当にありがとうございました。)

当日夕方、組合に集まりゆかたや半被姿に変身し、みんなで楽しく出陣式です。かわいく仕上がったゆかたの晴れ姿の女性やりりしい半被姿のちびっこやお兄さん達は、用意したピザやおにぎり、飲み物をたいらげて、みんなはもうお祭り気分です。

ぶんだら節の曲が流れる会場の通りは、踊りの連や沿道の見物人であふれていました。組合連は、ゆかたの女性陣をトップに踊りだし、男性陣が続き、ちびっこ達の引く山車が続きます。

今年は、山車をリニューアルしました。ふくらました風船800個を使って、車の横に「水」という字を白い風船で飾り、周りを青い風船で、爽やかな水のイメージに完成です。また、車の上では、まちの水道屋さんのかわいいおじさんバルーンが上がり、おど

りの列をふわふわと明るく点燈し、沿道の見物人を楽しませました。

踊りにも、新しいメンバーがふえ、昨年まで山車を引いたちびっこが今年は、ゆかたを着て、大人と一緒に上手に踊ってくれました。毎年楽しみに参加してくれる方も多く、元気にぶんだらを踊りました。踊りの終着点では「もっと踊れるのに残念!」と笑顔がいっぱいでした。

ぶんだら踊りへの出場する目的は、水道の指定工事店と水道工事のプロ集団としての組合の周知活動と管工事業界のイメージを上げる事です。後日、ぶんだら踊りのテレビ放送を偶然見た知人や友人が、踊りの連も衣装も良かったよと声を掛けてくれた時、出場の宣伝効果を実感しました。

組合の行事は、役員さんや青年部、事務局がそれぞれの立場で協力し合って出来ます。山車のリニューアルは、企画も製作も青年部が担当し、メンバーの方が仕事を終えてから作成しました。大量に使用する風船の調達には苦労しましたが、青は組合連のイメージカラーとなり、ゆかた、半被、山車の青は夏の暑い夜を涼しくいそどりました。

来年のぶんだら踊りには、観るだけではなく一緒に踊りませんか。沢山の方のご参加をお待ちしています。みんなで、管工事のプロ集団をアピールしましょう!!

青年部の動き

2008年度 紀ノ川一斉清掃参加



お父さんガンバッテ〜!

7月20日(日)に今年も紀ノ川一斉清掃に参加しました。

今年で10年連続の参加となりました紀ノ川の一斉清掃ですが、河川のごみが年々少なくなっているように感じます。

ここ数年では家族で参加する組合員さんも多く、子供たちも楽しくボランティアを体験



こくろうさまです

しています、受付で渡された大人用の手袋を小さな手にはめて、大きなゴミ袋を持って回る子供も毎年の光景になっていますね!

これも毎年のことですが、水道局の職員さんたちも早朝よりお隣で集合、みんなで清掃をすれば、あっという間にきれいになりました。

親睦バーベキュー大会も楽しみました

清掃ボランティアの後には、お楽しみのバーベキュー親睦会で盛り上がりました。

今年が目玉は・・・濱本局長のお手製アウトドアカレー!毎年フライドポテトやポップコーンと子供たちに大人気のサプライズをしてくれています局長ですが、今回はカレーを仕込んでくれました、これもまた、なかなかの人気でアウトドアカレーはやっぱりうまい!

二日ほど前より仕込みに入ったとか、西岡副理事長も玉ねぎを狐色になるまで炒めたとも聞いています。どうぞご馳走さまでした。



バーベキュー風景

奥様同士、子供同士も顔なじみになっているので、話は尽きずに、楽しい親睦の時間が過ぎて行きました。

会社訪問



おじゃマンII号の
儲かりまっか!
大 換



森田鉄建株式会社

和歌山市加太1134-66

会社概要

代表取締役 森田直子
専務 森田大介
(妻・子供3人)

昭和50年 創業
昭和61年4月 「森田鉄建 株式会社」に
社名変更

従業員 6名
土木・管工事 他公共工事が主
モットー 「地元密着型」「親切・丁寧」

和歌浦漁港(前回訪問地)を出航し、流れ流れて友が島、フェリー(現在加太漁港が運営)に乗船、東経135°(今年-加太灯台設立135周年記念)を通り過ぎ、着いたところが加太漁港、淡島神社(雑流し)から、加太春日神社(えび祭り)へと、おみこし・獅子舞引き連れて「通せ、通せ」と練り歩き、新町温泉、ちょっと入り、明石の鯛より、加太の鯛、伊勢えび、とこぶし、がながらと、ググッと、うまいわなー、ウフッフッ! 森林公園(あじさい一杯運動・恐竜王国)、カゴメのトマトに立ち寄って、駅前もどって、県道粉河・加太線走ったら、すぐに気がつく、森田鉄建様さん、「毎度おおきに、おじゃマンII号只今、到着!」

社長：
「遠いところ大変やったやろー、よーおこし、まー一杯飲んでー、砂糖とミルク入れといたでー。」

おじゃマンII号：
「エッ!……ピー、ピ、ピ、… ほな、よばれます。それでは、気を入れ直して、いえっ、気を入れて社長インタビューよろしく。社長暦は、何年になります。御趣味は?休日の過ごし方など、いろいろと、」

社長：
「22年目やなー、趣味は旅行と〇〇、書いたら

あかんでー、休みは掃除洗濯せなあかんやろ、おじゃマン代わってくれる。……」
無りっすー (うちゃん流)

おじゃマンII号：
「社長、現場の方にも行かれるんですか?」

社長：
「私、とつても、かよわいでしょ。でしょ!でしょ!無理、無理、無理一懇親会(組合総会)のテーブル(女性軍)に座ってても目立てへんやろ。」

おじゃマンII号：
「そう言われるとそうですね。『?』
ところで大ちゃん(専務)も相変わらず忙しそうやね。」

専務：
「組合の青年部に、JCも役もってるし、休みは少年野球のコーチせんならんし、それに加太観光協会青年部でえび祭りやろ、加太漁協の鯛供養(稚魚の放流など)、あじさい一杯運動とか地元の事も、協力せなあかんし。仕事も忙しけど、頑張ってるよ。」

おじゃマンII号：
「頑張れ、頑張れ、もっと!もっと!頑張れ。明石の鯛より加太の鯛、加太の鯛より「加太の大介!」



右より1番目 大介専務 右より2番目 森田社長

趣味のコーナー



Uchiちゃんの
何と!
驚きました
陸海空編



熱狂的阪神ファンでもある亀井社長

Uchiちゃんの何と驚きました。陸海空編第7弾「紀ノ川に潜む謎の爬虫類系」亀井良記さん〔(有)亀井設備・和歌山市出島・43歳・6人家族(両親・妻・子供2人(長男一中2・次男一小5))・一般住宅給排水設備工事、給配水管改善工事等・熱狂的阪神ファン(シーズン中十数回は甲子園に応援に行く)〕

Uchiちゃん：うわさに聞くとところでは、謎の生物を飼っているらしいですね。

亀井さん：アー、アレなー、毎日鶏肉ばかりやりすぎて死んだんや。俺よりデカになったんやけど。今は、これよー、ズボンに巻いてるんや、ハッ!ハッ!ハッ!

冗談やで。最近は反対派が多いんで、爬虫類系はあかんねん。今は、こんな感じかな。・・・と、隣の部屋へ→

Uchiちゃん：何!コレー。この古代魚みたいんと、ワニもどきに、巨大でめきん、それにうまそうな石鯛やら、可愛い金魚やら、

亀井さん：ちゃんと名前あるんやで、古代魚みたいんはアロワナ(70cm超)、ワニもどきはアリゲーターガー(60cm超)、巨大でめきんは「そのまんま巨大でめきん」(25cm超)金魚すくい、すくたん(5年前)を飼っていたら、巨

大化してもた。それから、石鯛より高価なダトニオー1cm当り1万円ぐらいするらしい(Uchiちゃんの想像だと30cm~やから エッ!¥3.....)、ちなみに可愛い金魚は、25円すんねん、この頃、贅沢になってこいつら、「可愛い金魚」食べへんねん、コウロギかカエル、やらなあかん。

Uchiちゃん：エッ!餌ですかー。鶏肉やらカエルやら肉食系が好きなんです?

亀井さん：熱帯魚系は、ピラニア(中学生時代)に始まったさかいなー、そやけど、やっぱり、俺は、にしき鯉系より「にしき【口縄】系やな。

Uchiちゃん：それにしても、世話すんの大変ちがうん。餌代やら、何やらと、水槽の水なんかも、しょっちゅう替えやな、あかんのちゃうん?

亀井さん：餌代もいるけど電気代やな、月に5~6万はいるしなー。毎日毎日、仕事がんばらなあかんねん、こいつらのために、涙、涙やでーつらいのー

Uchiちゃん：社長も大変やねー

亀井さん：アッ!そやけど水替えるんは、世話ないねん、ホース入れて口で吸うて、半分減ったら、井戸水、ポンプで汲み上げて、給湯器で適温に沸かして水槽に入れるだけ、配管もバッチリよ!魚もよろこんでるでー。「俺が水道屋で」。



アロワナ



ダトニオー



アリゲーターガー

阪神大ファンの亀井さんは魚(?)も大切にかわいがる!!



サブプライム 住宅ローン問題



昨年の夏ごろから「サブプライムローン」にからんだ問題が世界の金融市場を大きく揺さぶっています。世界同時株安に加えて円高の進行・短期金融市場での流動性不安など深刻なものとなっています。「サブプライムローン」は、所得の低い層やクレジットカード等で返済延滞を繰り返す人など、いわゆる信用力の低い個人を対象とした住宅ローンのことですが、審査基準が緩い分、通常の住宅ローン（プライムローン）に比べて金利が高く設置されています。アメリカの住宅ブームが本格化した2004年頃から増加、拡大しました。

「サブプライムローン」は最初の2年ほどは金利のみで、しかも低い固定金利でその後大幅に金利が高くなり、変動金利が採用される仕組みとなっています。昨年アメリカの住宅ブームが下火になって住宅価格が上昇から下落に転じ、元々高金利の住宅ローンの上に、FRB（米連邦準備制度理事会）が実施した利上げによって、住宅ローン金利が上昇したことも加わって、ローンの返済に行詰まり延滞者が続出しているようです。リスクの高い住宅ローンにもかかわらず、世界中の多くのヘッジファンドや、金融機関が「サブプライムローン」と直接的・間接的に関係をもっていました。個人に融資した、住宅ローン会社は、回収リスクを避けるため、債権を小口証券化し、住宅ローン担保証券として売出しました。この住宅ローン担保証券は、米国債などに比べて高利回りのため、ヘッジファンドなどが購入したわけです。ヘッジファンドは銀

行や証券会社などから資金を調達し、住宅ローン担保証券への投資を拡大させていきました。さらには投資信託など一般投資化向け金融商品（デリバティブ）として、住宅ローン担保証券を組入れたものも現われました。

このようにして「サブプライムローン」に関連した投資が世界中に広がる中、同ローンの焦げ付きが増加し、住宅ローン担保証券の価格が大幅に下落、住宅ローン会社の破綻が相次ぎ、投資していたヘッジファンドもその資金を融資していた銀行、証券会社等金融機関も、連鎖的に損失を被り世界の金融市場に影響を及ぼすことになりました。「サブプライムローン」関連の商品を購入した機関投資家やヘッジファンドは、間接的にサブプライムローンの貸し倒れリスクを引受けたこととなります。証券化商品の購入する理由が2つありました。ひとつは高利回り商品であったこと、もうひとつは、住宅ローン債権の一部は焦げ付いても、一度にすべてが焦げ付く可能性は低いという認識が広がり、格付け会社もサブプライムローン関連商品の証券化商品に対して高格付けを与えていたため、世界中に被害が拡大してしまいました。サブプライムローンに関連した金融機関等の損失は約150兆円ともいわれています。



編 集 後 記

朝夕、めっきり肌寒さを感じるようになりました。夕日の沈む時刻が早まりますと、何かと気分的に気味悪く感じられ、年末が、もうすぐそこに近づいたように感じられます。景気の後退局面、食の安全に関するニュース、親が子供を殺したり、子が親を・・・等、暗いニュースが後をたちません。そんな中で日本人のノーベル賞受賞のニュースは、誠にビッグなニュースで、失いかけた自信をとり戻させてくれました。

北京オリンピックも終り2ケタの成長率で成長を続けてきた中国経済も、ここにきて1ケタに減速してきました。さらに世界的な危機と云われています、サブプライムローン問題が世界の経済に大きな影響をおよぼし、処理を誤りますと、世界的な金融大恐慌に発展しかねないと云われています。一日も早く、世界の金融市場の安定化を望んでいます。「サブプライムローン」は信用力の低い層向けのローンのため高金利の住宅ローンですが、ハイリスク・ハイリターンの商品ですから、サブプライムローンから派生した、住宅ローン担保証券やそれへの投資をした銀行、証券会社等金融機関が住宅ローン会社の破綻により被害が拡大しています。冷静に考えて

みますと、高利回りの投資話しに世界の金融機関が乗ったため被害が拡大したといえます。

世界的な金融不安による景気後退局面に加えて、日本の政局の不安定が日本経済にとって、どのように影響するのか、注目の集まるどころです。

衆議院選挙を控えて各政党は、選挙向けに具体的な福祉政策を発表していますが、政策は極めて具体的ですが、財源は抽象的です。増税して財源を賜うのか、どこをどのように削って抽出するのか、具体的に示してほしいものです。いづれにしてもその財源は国民のものだと云うことを忘れないでほしいと思います。

中小企業団体中央会主催による「和歌山くみあい祭り」が、11月15日(土)～16日(日)まで、和歌山マリナーシティで開催されます。当組合からは、「水まわりリフォーム相談コーナー」を設けて、市民の皆様



皆様にもぜひお立寄りいただき、ご意見を賜りたいと思っております。きびしい経済環境が続くものと思われませんが、皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

編集委員一同

■組合だより 紀の水

●発行  和歌山市管工事業協同組合

理事長 小 向 俊 和

●編集 紀の水編集委員会

〒640-8251 和歌山市南中間町12

TEL(073)436-6801

FAX(073)436-6804

URL <http://www.w-kankoji.com>

E-mail:wakayama@w-kankoji.com